



番組の内容は岩手県のホームページ「県政番組 いわて情報ステーション」でご覧になれます。
<http://www.pref.iwate.jp/magazin/index.html>

タイトル：「一人ひとりが主役の県土づくり！」

放送日：平成 17 年 5 月 15 日(日)7 時 45 分～ (TVI)

県では、社会資本の整備事業について構想から整備後の管理までのそれぞれの段階で、県民と県が話し合いながら決めていく「県民参加」の県土づくり・地域づくりを進めています。これは、真に必要な社会資本整備を県民の知恵と工夫を活かしながらつくっていく取り組みです。

5 月 15 日(日)に放送予定の県政番組「いわて情報ステーション」では、県土整備部が取り組んでいる「県民との協働による県土づくり」の事例を紹介します。ぜひ、ご覧ください。

お問い合わせ先：県庁県土整備企画室 (019-629-5846)

1 紫波町日詰地区 暮らしのみちゾーンの取り組み

紫波町日詰地区では、日詰商店会や地域住民、県、町、関係団体が協働して、日詰商店街の活性化構想について協議し、商店街に活気をとりもどす取り組みをおこなっています。

平成 15 年度に国土交通省の「暮らしのみち社会実験」を実施。2 車線の道路を一方通行とし、人と車の流れや速度、利用者がどのように感じるかなどを調査しました。平成 16 年 9 月には対面通行による社会実験を実施。この時集められたおよそ 4000 人のアンケート結果を住民懇談会などで話し合いながら計画づくりを進めています。実験や懇談会などを通じて、道づくりに関する住民の関心も高まりました。

今年度中には詳しい計画を完成させ、平成 19 年度には新しい日詰商店街が誕生する予定です。

暮らしのみちゾーンとは・・・

外周を幹線道路に囲まれている等のまとまりのある住区や中心市街地、商店街の街区などにおいて、警察と連携して一般車両の地区内への流入を制限して身近な道路を歩行者・自転車優先とし、併せて無電柱化や緑化等の環境整備を行って、交通安全の確保と生活環境の質の向上を図ろうとする取組

出典：国土交通省の HP より



収録風景



野村会長(左)とテレビ局



日詰商店街の様子

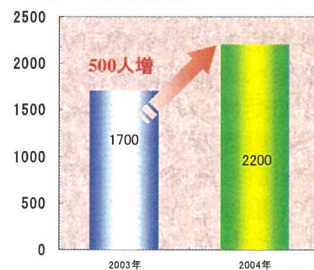


■ 県民参加による県立花巻広域公園の利活用促進の取組み

県立花巻広域公園では、NPO 法人花巻文化村協議会と協働して、公園の利活用促進に取り組んでいます。

4 月 24 日には、県立花巻広域公園ではフリーマーケットや屋台村など、いろんなイベントが行われました。これらのイベントの企画や運営を行っているのは、NPO 法人花巻文化村協議会。平成 15 年度から、この県立花巻広域公園の利用者を増やすため、毎月 1 回のイベントやワークショップなどを開催しています。公園の認知度や住民の関心が高まり、去年の夏まつり来場者数は前の年に比べて 500 人も増えております。

(人) ▼夏まつり来場者込数



花巻広域公園の全景



フリーマーケットの様子



ストリートライブの様子



昨年植樹した桜の苗木